

令和3年度第3回児童館運営審議会結果報告

1 会議の開催

書面開催（令和4年2月22日から3月18日）

2 審議会の議事内容

- (1) 令和4年度児童館事業計画について
- (2) その他児童館事業にかかる全般的なご意見等について

3 書面開催に伴う対応

議事内容について委員意見を聴取した上で意思確認を実施した。（別紙）

4 議事内容の結果について

議題について、審議会委員定数10名全員から承認が得られた。

令和4年度児童館事業計画に係る委員意見等

※順不同

区分	意見等	委員	事務局回答
中高生	中高生の居場所づくりは、行動範囲の広がった子どもたちには4館分の事業が伝わると、たくさんの交流や過ごせる場所が増えることにつながると思いました。	大久保	ご意見ありがとうございます。 例えば貫井南児童館にあるバンド室など、twitterなども活用しながら広報に努めていきたいと考えております。
四館合同	・四館合同事業計画2(2)について、『市内の自然環境を利用した野外事業を夏休みや休日に実施』とあります。こちらに関しては、市内の子どもが地域関係なく交わるような内容での実施をお考えでしょうか。もしくは、共通した内容で各児童館単位とお考えでしょうか。日常では、学校・学区内での活動が多くなる小学生の子ども達です。人との繋がりがりや世界をひろげる意味でも、地区で囲い込まず、市内全体で交流できるような活動を希望します。	木本	四館合同事業計画については、各館単位で行うものではなく、お見込みのとおり全体で実施するものの計画となっております。 児童館としては各館事業においても地区で囲い込む意図は持っておらず、市内のどの地域の子どもも受入れをしております。 とは言え、平日の放課後に来館する子どもの在住地区が近隣であることは認識しており、学校のない日に広い地域から参加者を募る行事として、移動児童館事業等の四館合同事業を実施しています。今年度実施事業を例にすると、3月13日に実施する「逃走中inくじら山」などが該当しております。
本町	・令和3年度の事業がどのように実施されたか伺えておらず想像の範囲ではありますが、本町児童館は、コロナの影響でしょうかボランティアが担っていた分を職員さんで補い事業継続を図ったり、卓球教室からトーナメント大会へ展開されたりと居場所づくりの工夫を感じました。また、夏期事業についても、具体的な内容で実施にむけ動かれていることがよく分かりました。	木本	ご意見ありがとうございます。コロナの影響で本町児童館に限らず、多くのボランティアの協力を得て行ってきた事業をこの間職員が行うものがあります。 職員としては、実施可能になっていく事業で、以前のようにボランティアの方々に戻って来ていただきたいと思っているものもありますが、ボランティアが児童館に来られないだけでなく、自ら活動自体を休止し、そのまま解散してしまったところもあります。ボランティアが関わることは、地域の活性化もそうですが、職員だけではできない高度な内容ができることは大きいです。 一部の事業については令和4年度は職員が行い、以降はそのまま続けるか、ボランティアがかかわれる別の事業に方向転換していくかは検討予定です。
貫井南	・貫井南児童館への質問です。事業計画3(7)で小学生と中高生の交流事業(スポーツ大会)が今年度から追加されましたが、どのような理由から追加されたのでしょうか。	木本	貫井南児童館では、令和4年度の計画に沿って中・高校生世代のボランティアの育成、中・高校生世代の意見や要望を反映させて行事につなげることの2つを目的として、この事業を実施したいと考えました。 小学生行事などで中・高校生世代ボランティアの受け入れを積極的に行ってきましたが、コロナ禍で実施できない行事も多くあり、世代間交流が難しくなっています。 中・高校生世代向けの合宿など中・高生世代が企画して行うイベントの実現についても、まだ見通せない状況です。一方日常的には中・高校生の自由来館の人数が多く、小学生と中・高校生の来館時間が重なるため、庭で職員の働きかけで小学生と中・高校生が集団遊びをすることもあります。スポーツを通じて小学生と中・高校生が交流する機会を設定し、内容は中・高校生世代の意見を取り入れて行事を組みたいと考えています。

区分	意見等	委員	事務局回答
東・緑	<p>・緑、東児童館へ質問です。コロナウィルスの流行により大変な2年を過ごしての今年度の事業計画と思います。ただ、書面のみではコロナを経た経験からの新たな取り組みや、市の事業の児童館として大切にしたいことなど読み取ることが難しかったです。事業計画で、各館の核として大切にしていきたいこと、事業をお伺いしたいです。</p>	木本	<p>児童館事業とは「行事」の実施だけではありません。もちろんコロナ禍でも楽しめる新しい企画は大切です。ですが、この間改めて職員一人一人が感じたのは、子どもたちにとっての重要な居場所としての児童館です。来館者数はそれまでと比べて減ってはいますが、毎日子どもたちの元気な声で溢れています。コロナ禍はまだ過ぎたわけではないので、来年度も厳しい状況は続きますが、多くの子どもたちが安心して過ごせる場所となるように感染対策も含め、努めていくことが最も重要な取り組みです。何卒その辺りを読み取っていただければ幸いです。</p>
乳幼児	<p>1. 乳幼児の保護者に対する施策の充実 ⇒「行きたいときに気軽にいける場を」の方針に賛成です。保健センターの方に聞くと平日にパパが乳幼児を連れて所在なげにしているとのこと。児童館ももっとパパにどうやってリーチするかジェンダーフリーの立場から研究を開始していただきたいと思います。</p>	小林	<p>子育てひろばの父親参加は、コロナ禍前から各館の推進事業の一つです。結果的にはコロナ禍で父親や家族での利用が、特に土曜日ほどの館でも増加しています。市の乳幼児親子に向けた子育て支援は、子ども家庭支援センターを中心に推進しています。児童館は子育てひろばという概念がなかった時代に建てられた施設なので、男子トイレにおむつ替えシートがない、授乳場所に専用室がない、など施設の面からも不備は多いですが、父親だけでなく母親や祖父母など、保護者が誰でも来やすい施設作り事業展開を、共同して考えていければと思います。</p>
小学生	<p>2. 小学生に対する事業の充実 ⇒「子どもの意見を取り入れながら」の部分ですが、あそびや活動の主体性や協働性を重視する重要性は職員の方は理解されていると思うのですが、保護者が理解できていない(実践できない)風景を頻繁に見かけます。保護者の理解促進も児童館としてどう進めるか研究をお願いしたいと思います ⇒(質問)地域人材やボランティアの協力を得るやり方は、これまで主にどうやって来たのか、現状と今後の課題について教えてください。地域へのリクエストもあれば・・</p>	小林	<p>地域に子どもがいれば保護者もいるというのは当たり前の話ですが、児童館にとって保護者との関係は事業運営に対しての理解を得るためにも重要です。子どもは色々な顔を持ち、家庭や学校とは違った顔を見せています。そういったところも保護者に理解してもらいたいと感じることがあります。色々な意味で重要なご提言と思います。</p> <p>地域人材やボランティアの確保に関するご質問ですが、これまでというまです「母親」です。子どもが幼少期に参加する「幼児グループ」が一つのキーワードですが、そこは母親たちが主体的に活動を進めていくサークルなので、そこでの仲間作りが自主活動に発展し、児童館でのボランティア活動だけでなく、いつしか地域人材につながったと言えます。</p> <p>重要なポイントとしては、子どものため、というだけでは中々活動を継続させていくのは難しく、そこで交流することや共に活動することが、子ども抜きでも楽しいと感じ、自身のやりがいや生きがいとして強制感なく取り組めるようになることが重要です。また、グループができたとしても、いきなりボランティアを依頼しても難しいです。職員との信頼関係は大事なもので、母親たちのニーズをしっかりと理解することも重要です。個人として長きにわたり離乳食など食育の講師を勤めてくださっている方がいますが、その人とは雑談の中で栄養士の資格があることがわかり、「講師やってみませんか？」となりました。</p> <p>課題としては、声掛けできる母数の減少です。</p> <p>こういった母親やそのグループとのかかわりですが、日中地域に母親がいなければ成り立ちません。20年前と比べて平日就労している人たちは多く、幼児グループの活動自体が存続を危ぶまれています。どうやったらボランティア活動につながる、という以前に母数がないといった状況に年々なってきました。児童館だけでなく子ども会や学校単位のスポーツチームの世話人の成り手が減って困っているという話もよく聞きますが、同じ理由だと思えます。</p> <p>放課後子ども教室や小林委員のなさっているような活動もあるので、こういった問題に対処するために一度話し合いを持ちたいという考えを持っています。</p>

区分	意見等	委員	事務局回答
中高生	<p>3. 居場所づくりを中心とした中高生世代に対する施策 ⇒児童館の求めるボランティアの内容を是非教えてください。緑中と連携していただきたいので。</p>	小林	<p>児童館では、ボランティアをしてほしい事業が先にあるわけではありません。世の中の役に立つ人間を育てるのが目的でなく、健全に育ていけば結果的に世の中の役に立つことにつながる、という子どもの権利にもつながる児童福祉の理念と同じで、中・高校生世代をボランティアにするために事業を行っているのではなく、あくまで彼らがしたいことができ、それを見守り支援していく関係性が続けば、結果としてボランティアとして育ってくれる、というものです。</p> <p>よって、ボランティアに興味を持ってもらいたいとは思いますが、どんなボランティアということよりも、何よりも児童館が彼らの居場所になるべき魅力あるものにすることが第一と考え計画しています。</p>
全体	<p>新型コロナウイルス感染症について考慮しつつも、子どもたちの地域の中での遊びと育ち、交流の拠点として、また小さな子どもを持つ保護者も含めたと居場所としての機能を十分発揮できるよう、積極的な事業計画となっていると思いました。</p> <p>基本方針では「4」として相談事業や地域関係機関との連携について取り上げられていますが、これは今後ますます必要性が高まってくるテーマだと思っておりますので、各事業を実施する中でも意識してつなげていただければと思います。</p>	倉持	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>地域と協働については、本市の児童館ですずっと大切にしてきたもので、これまでも多くの児童館事業が地域の団体、市民の協力の下で実施されてきました。</p> <p>地域との関りについては、これからも必要な視点であると考えており、来年度の児童館職員研修の一つとして検討しているところです。</p> <p>子どもを取り巻く環境が急激に変わる中、児童館はどうあるべきかということについては、今後委員の皆様と話し合っていければと思っております。</p>

児童館事業全体に係る委員意見等

※順不同

No.	意見等	委員	事務局回答
1	<p>児童館の特性の一つが拠点であることなら、市内に4館というバランスは公平でないと感じる。児童館の「居場所」という機能だけでも取り出した拠点が子どもの生活圏内にあることが望ましい。小金井市でも子どもの居場所づくりを目的とした事業は他にもあるので、スキルのある児童館がけん引役となれば、子どもにとって公平に近づくのではないかと考える。</p>	大久保	<p>ご意見ありがとうございます。 大久保委員のおっしゃるように、市としても子どもの居場所は子どもの生活圏内に多様な形で在るのが望ましいとの考えから、「子どもの居場所づくりの推進に関する指針」を令和3年9月に策定しております。 市としては児童館も居場所の一つとして、その他放課後子ども教室やプレーパーク事業なども併せて居場所づくりをしています。</p>
2	<p>こないだ本町児童館を訪れた際に本町児童館の部屋が学童人数が多く学童にとられて狭くなっていると聞きました。このままだと緑や東といった学童が併設された児童館では今後本町のようになっていった児童館を訪れた子供の遊び場が無くなってきてしまいます。今後の子供の遊び場としての児童館をどうしていくつもりなのでしょうか？</p>	三浦	<p>学童保育所については、毎年希望者が増加している中においても、全入堅持を掲げており、定員を超えて受入れている状況があります。 この大規模化への対応として、ほんちよう学童保育所では本町児童館2階の集会室を、学童育成室兼用として利用しています。 子どもを取り巻く環境が急激に変わる中、児童館はどうあるべきかということについては、今後委員の皆様と話し合っていければと思っております。</p>
3	<p>・児童館全体の通信環境について WIFIの環境整備などどのようにしているのか。市民からの要望等はないのかなど。</p>	山中	<p>児童館は、小金井市地域防災計画で避難所指定を受けていないことから、市全体の無線LAN(Wifi)整備計画には含まれておりません。 市民からの要望としては、主に中学生以上の利用者からは日常的に要望が出ています。3年前の子どもの権利に関する条例制定10周年記念行事の「子どもたちからの主張」でもありました。保護者からは今のところありません。 通信機能付きゲーム機等の持ち込みも認めているため、使い方を含めたネットリテラシーの整理などの課題があり、どうしていくか検討している状況です。</p>
4	<p>・各学校からの情報発信について 例えば、生徒会の取り組みなどで、学区内の市民の方の協力をお願いしたい場合。児童館内にポスターなどの掲示は可能なのか。</p>	山中	<p>児童館内でのポスター掲示やチラシ配布については可能です。 但し、施設特性上、大人の来館は少ないため、主に乳幼児保護者や子供向けの広報を望まれる場合が多いことを申し添えます。</p>

No.	意見等	委員	事務局回答
5	<p>・資料8事務局からの報告2その他で『陽性者の利用をとめることで』となっていますが、果たして陽性者だけの利用をとめているのでしょうか。先日、児童館に掲示された「新型コロナウイルス感染拡大にともなう児童館からのお願い」の4の文章では、陽性の可能性が取り除けない人については、利用することを拒むものになっているように感じます。市民としては児童館に行きたくても、行けない場面があるように思います。そのような市民に対し、何か措置や手を差し伸べる事業展開を必要とは考えておられますか。</p>	木本	<p>資料8について、説明が足りず申し訳ありません。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策については、令和2年3月の全国一斉休校時から、その都度検討や見直しを行い、児童館を運営してまいりました。 この間、初めて児童館関係者に陽性者が確認された際には、保健所との連携によりクラスター発生源となっていないか確認ができるまでの間、児童館を臨時休館等の措置を講じて参りました。 現在の第6波については、感染者数は依然として多く、保健所の業務がひっ迫している状況にあり、同様の措置を取ると臨時休館期間が長期化する恐れがあったことから、保健所に助言を求め、濃厚接触者の特定基準等を参考に、市で濃厚接触者の発生見込みを判断することとしています。 児童館を含む子ども関連施設では、感染の拡大源とならず、かつ皆様に安心してご利用いただくため、消毒を含む施設側の対策の他、マスク着用など利用者にも理解を求めながら運営しています。 陽性者が複数名判明し、クラスターの発生が疑われる場合には、児童館休館も視野に対応することに変わりありません。 市としては、「感染しない・感染させない・広げない」ために、風邪症状があったり、陽性が疑われる方については、不要不急の外出を避け、ご自宅での積極的な療養をお願いしたいと考えております。 児童館では、来館できない子育て世帯に向けて、「ご利用ください。子育て相談」と題し、市報やHPで子ども家庭支援センター同様、児童館でも電話で相談等に乗れることをご案内しています。</p>
6	<p>1)コミュニティスクールの地域学校協働活動には是非参加していただきたいです。子どもたちを地域で育てる上で児童館は場所のハブとなります。地域学校活動で動くときには是非ご協力いただきたいし、個人的には学校運営にも、福祉の面から参加して意見を聞きたいと考えています。まだ構想中ですが、三小や緑中でやるときは、声をかけますのでできる範囲でご協力お願いします。 特に緑中生をボランティアやインターンにかこつけて日常的に部活動として地域に出たいと考えており、いろいろ知恵を貸していただくと大変助かります。</p>	小林	<p>小金井市では令和3年度現在、4校(一小、前原小、緑小、南中)がコミュニティスクールを導入しております。また、導入していない学校にも、学校運営連絡会があり、児童青少年課長及び各児童館職員は、現在近隣公立学校の学校運営協議会(コミュニティスクール)及び学校運営連絡会委員として就任しています。 地域と協働については、本市の児童館ですずっと大切にしてきたもので、これまでも多くの児童館事業が地域の団体、市民の協力の下で実施されてきました。 地域との関りについては、これからも必要な視点であると考えており、来年度の児童館職員研修の一つとして検討しているところです。 子どもを取り巻く環境が急激に変わる中、児童館はどうあるべきかということについては、今後委員の皆様と話し合っていければと思っております。</p>

No.	意見等	委員	事務局回答
7	2)例えば、公園等に出張する、出張児童館の事業をボランティアを活かして実施は、難しいでしょうか。児童館の事業として地域が、児童館の道具等をもってリヤカーなどで児童館近隣の公園に出張してあそび場を作り出す形です。例えば関野町の神社なども妄想しており、近い将来の事業として検討の範疇には入らないでしょうか？ 多分リヤカー代とあそび道具だけでいけるかと・・・なければリヤカーなしでも・・・児童館事業になるといいなあど・・・ 応じてくれるボラも見つけなきゃいけませんけど・・・	小林	現在行っている移動児童館事業は、元々児童館が近隣にない地域に児童館を、という住民の要望に対して、地域住民の協力を得て始めました。また、館内で実施する事業もボランティアの協力を得ながら行っています。また児童館では、地域で子どものための行事等を実施する場合、器具の貸し出し等も行っております。 児童館以外の市内の他の場所で実施する事業としては、たとえば貫井南児童館が近隣でオリエンテーリング的な野外活動をしたり、本町児童館が学芸大学内で学生と共同事業を行ったりという例はあります。 こういった単発的な活動を不定期で行うことは可能ですが、定例的に職員を派遣し実施する場合には、児童館の開館と同時に行う必要があるため、館内で行う事業を縮小するなど、整理が必要になります。移動児童館も、月1回定期的に実施するには、4館から職員を集めている状況です。 児童館はあくまで「児童厚生施設」のため児童館に遊びに来てくれる子どもを受け入れることが前提ではありますが、児童館はどうあるべきかということについては、今後委員の皆様と話し合っていければと考えております。
8	事務局からの報告について、確認しました。来年度東児童館の再委託や子どもオンブズパーソン新設、児童館のあり方検討など、大きな事項が多くあり、児童館審議会としても十分審議いただきたい(したい)と思います。 新型コロナウイルス感染症第6波は児童館にも大きな影響を与えているそうですが、安全と健康に十分配慮して運営いただいていること、負担も大きいかと思いますが職員や関係者のみなさんに感謝いたします。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。	倉持	ご意見ありがとうございます。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策について、利用者にもご理解・ご協力をいただけたお陰で、コロナ禍においても開館することができています。今後も安心して利用できる児童館を提供していきたいと考えております。
9	2/15号「市報こがねい」にて、小金井市子育てひろば「こ・こ・いこマップ」のカラー刷り掲載を拝見しました。 各児童館、学童保育所、子ども家庭支援センター「ゆりかご」での子育てひろばの取組・情報が一目でわかりやすく、「保存版」となっていました。今後時々、掲載していただきたいと思いました。	山田	ご意見ありがとうございます。 ご指摘いただいた市報記事については、おおむね年1回掲載していきたいと考えております。
10	不登校傾向のある児童や放課後の児童の居場所として、学校との連携を一層深めていけるとよい。(すでにいただいている)	壇原	ご意見ありがとうございます。 児童館の利用層の多くは学校に在籍している年代のため、児童館としても子どもの居場所の一つとして、学校との連携を深めたいと考えています。
11	児童文化的な活動や昔遊びなど、学校へのゲストティーチャーとしての連携や交流は可能か、検討できるとよい。	壇原	学校との連携ということでは、中学校の職業体験の受入れや職業紹介の講師なども行っています。
12	資料8の2ですが、児童館のあり方検討に関する議題が来年度予定されていると拝見しました。考察のため、しあわせプランについての児童館運営に関わる部分等の資料等があれば、情報をご教示いただければと思います。もしもう頂戴しているようでしたらすみません。	鈴木	小金井しあわせプラン(小金井市基本構想・長期基本計画)は、前・後期に分け、5年ごとに策定している市の最上位計画です。現在は平成28年度から令和2年度までの第4次基本構想・後期基本計画を、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年度まで延伸しており、令和4年度からの計画を現在、市議会にて審議を行っているところです。 あり方検討前に、本計画の資料提供は必要なことと考えておりますので、新計画策定後、皆様に関連のある項目については資料として配布したいと考えております。 なお、令和3年度時点の現行計画については小金井市ホームページから確認可能です。